



屋外ステージを併設して 新規顧客を獲得した里山カフェ

課題

付加価値を高めて 客単価や集客力を上げたい

岩国市美和町にある「里山カフェHAKU」は、中山間地域の特性を活かし、里山の癒やしと大人の隠れ家的な空間をプロデュースした店。2007年のオープン以来、地元食材を使ったランチを提供するとともに、菓子の製造販売も行っている。菓子では、和栗のなかでも最大級といわれる「がんね栗」の渋皮煮をまるごと1個使用した「がんねマロンパイ」や、山代地鶏の有精卵を使った「HAKUプリン」などが人気で、近年では、ニッポン全国物産展をはじめ、岩国市や広島近郊で開催される物産展にも積極的に出展している。

こうしたランチや菓子の開発や販売促進は、オープンから時間をかけて行ってきたことにより、知名度が向上し、顧客は増加傾向にあるが、カフェよりも菓子販売の客の比重が増えているため、平均の客単価が減少。全体的な売り上げは横ばいで推移していた。付加価値を高め、他店との差別化を図り、課題解決したい。そう考えた同店は、やましろ商工会の支援のもと、店舗に屋外ステージを併設して、イベントを開催することで集客力や客単価の向上を目指すことにした。

支援

持続化補助金と 経営革新計画で支援

商工会では2017年、経営力向上計画の策定を支援。これは、過去に2回、屋外ステージ併設に向けて小規模事業者持続化補助金の申請を行ったが、不採択だったため、次の持続化補助金の申請に向けた加点を目的に実施したものだ。そして2018年、3回目となる持続化補助金の申請を支援し、採択された。これにより、岩国市内では初めてとなるカフェ併設の屋外ステージと、テラス席の設置を実現。100名以上を集客できるイベントを開催できるようになり、ミニコンサートやブライダルなど企画し、実施。また、SNSやホームページからの発信に加え、新聞記事やテレビ出演といったメディア活用も促進したことで、新規顧客の獲得にもつながった。その結果、売上がアップし、赤字から黒字への転換も実現した。

このほか、商工会では、財務内容の改善もサポートし、製造原価の見直しや経費の削減を行ったことも、業績改善に大きくつながった要因である。



イベントに活用できる屋外ステージとテラス席を設置

そして2019年には、経営革新計画の策定も支援した。これは、屋外ステージ・テラス席を設けたことで、新たな顧客層に向けた集客や販売方法を確立する計画で、イベントのターゲットの設定やプランの策定、さらには店舗横の賃貸アパートの空き部屋を活用した民泊業も視野に入れている。民泊事業は、イベントの幅を広げるだけでなく、宿泊施設が少ない地域のためビジネスパーソンの利用も期待できる。

また同年には、これまで独自に行ってきた記帳業務を見直して、「ネットde記帳」（自計）を導入。適正な会計処理を行い、正確な財務状況の把握に努めている。

支援の経過

期間	支援内容
2017年8月	経営力向上計画の策定支援
2018年5月～12月	持続化補助金の申請・実行支援
2019年1月～6月	経営革新計画の策定・実行支援

会社概要

会社名：里山カフェHAKU
 住所：山口県岩国市美和町波前361
 電話番号：0827-96-0897
 URL：https://haku-iwakuni.com
 代表者名：代表 吉岡芳美
 創業年：2004年
 従業員数：1名
 商工会名・担当者名：やましろ商工会・重國辰哉